

様式 71 の 3

内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術の施設基準に係る

届出書添付書類

1 標榜診療科名（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）				科
2 当該保険医療機関における小児科及び 麻酔科の標榜		有 ・ 無		
3 当該保険医療機関において、双胎間輸血症候群に関する十分な経験を有する常勤の医師				
診療科名	常勤医師の氏名	勤務時間	双胎間輸血症候群 の経験症例数	
		時間	例	
		時間	例	
4 「A303」総合周産期特定集中治療室 管理料の届出		有 ・ 無		
5 緊急帝王切開に対応できる体制及び「A 302」新生児特定集中治療室管理料の届 出		緊急帝王切開に対応 できる体制	有 ・ 無	
		「A302」新生児特 定集中治療室管理料 の届出	有 ・ 無	
6 倫理委員会が設置されており、必要なと きは事前に開催すること。		有 ・ 無		

〔記載上の注意〕

- 「3」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。
- 「3」については、医師が経験した当該手術症例一覧を別添2の様式52により添付すること。
- 「4」について、「無」の場合は「5」を記載すること。
- 倫理委員会の開催要綱（運営規定等）の写しを添付すること。
- 当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。

様式 71 の 4

胎児胸腔・羊水腔シャント術

無心体双胎焼灼術

胎児輸血術

臍帯穿刺

の施設基準に係る届出書添付書類

該当する届出事項を で囲むこと。

1 標榜診療科（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）		
		科
2 産科又は産婦人科、小児科及び麻酔科の医師の氏名等 それぞれの診療科において2名以上の医師が配置されており、そのうち1名以上は5年以上の経験を有する医師であること。		
医師の氏名	診療科名	当該診療科における経験年数
		年
		年
		年
		年
		年
		年
3 5例以上の胎児胸水症例を経験した常勤の医師の氏名等		
常勤医師の氏名等	勤務時間	胎児胸水の経験症例数
	時間	例
	時間	例
4 無心体双胎に関する十分な経験を有した常勤の医師の氏名等		
常勤医師の氏名	勤務時間	無心体双胎の経験症例数
	時間	例
	時間	例
5 超音波ガイド下の胎児治療に十分な治療経験を有し、2例以上の臍帯穿刺又は胎児輸血を経験した常勤の医師の氏名等		
常勤医師の氏名等	勤務時間	臍帯穿刺又は胎児輸血の経験症例数

	時間	例
	時間	例
6 総合周産期特定集治療室管理料の届出	有 ・ 無	
7 緊急帝王切開に対応できる体制	有 ・ 無	
新生児特定集中治療室管理料の届出	有 ・ 無	

[記載上の注意]

- 1 「 2 」については、胎児胸腔・羊水腔シャント術、胎児輸血術及び臍帯穿刺の届出を行う場合に記入すること。
- 2 「 3 」については、胎児胸腔・羊水腔シャント術の届出を行う場合に記入し、胎児胸水症例の一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添 2 の様式 52 により添付すること。
- 3 「 4 」については、無心体双胎焼灼術の届出を行う場合に記入し、無心体双胎症例の一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添 2 の様式 52 により添付すること。
- 4 「 5 」については、胎児輸血術及び臍帯穿刺の届出を行う場合に記入し、臍帯穿刺又は胎児輸血症例の一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添 2 の様式 52 により添付すること。
- 5 「 2 」から「 4 」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。
- 6 「 6 」について、「無」の場合は「 7 」を記載すること。